

乳房超音波検診を受診される方へ ～ 9人に1人が乳がんになる時代～

乳がんの罹患率は30才代から上昇しています。

- 乳腺の発達した若い方の病変を効率よく検出できます。
- 小さな腫瘍（しこり）の発見に優れています。

罹患数	死亡数*
2019年	2021年
1位	4位

*国立がん研究センターがん情報サービスがん統計より 罹患数：ある集団で新たに診断されたがんの数

当協会では、消毒や定期的な換気などの感染予防対策を徹底し、安心して健診を受診していただけるための環境確保に努めています。

① どんな方法で検査するの？

上半身の衣服を脱ぎ、ベットに仰向けになる

乳房に検査用のゼリーを塗る

超音波（プローブ）を当て乳房全体を観察

ゼリーをふき取って検査終了



- ※ 検査は女性の認定超音波検査士が行います。
- ※ 検査時間は約10分です。

② 受診上の注意

- 各自バスタオルをご持参ください。
- すぐに上半身の衣服を脱げるような服装でお越しください。

③ 検査結果について

- 「要精検」の方は、結果通知書を持参のうえ乳腺外科または外科のある総合病院で精密検査を必ず受けてください。
- 「異常認めず」の方でも自覚症状がある場合は、医療機関に受診をおすすめします。
- 定期健診と月に1回のセルフチェックを行ってください。